**おおさかQネット「ラグビーワールドカップ2019」及び**

**「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に関するアンケート**

**分析結果概要**

■実施期間　平成30年2月9日（金）から2月13日（火）

■サンプル数　　国勢調査結果（平成27年）に基づく性・年代・居住地（4地域）の割合で

割り付けた18歳以上の大阪府民1,000サンプル



大阪市域　　：大阪市

北部大阪地域：豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町

東部大阪地域：守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市

南部大阪地域：堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

■分析結果の概要

1. 調査目的

大阪府では、今後開催される「ラグビーワールドカップ2019」及び「ワールドマスターズゲームズ2021関西」についての認知度、関心度等を測定する。

1. 調査項目
2. ラグビーワールドカップ2019について

①　認知度（日本開催、東大阪市花園ラグビー場開催）

②　ラグビー観戦経験

③　興味・関心度

④　ボランティアの参加意向

1. ワールドマスターズゲームズ2021関西について

①　認知度

②　興味・関心度

1. 調査結果
2. ラグビーワールドカップ2019について

①　認知度（日本開催・東大阪市花園ラグビー場開催）

ラグビーワールドカップ2019が日本で開催されることを知っている割合は65.2％で男性が77.1％、女性が54.5％であった。そのうち、「東大阪市花園ラグビー場が試合会場であること」を知っている割合は、78.4％であった。

　　　②　ラグビー観戦経験

　　　　　ラグビー場やスタジアム等で実際に観戦したことがある割合は14.9％であった。テレビ観戦を含めると34.8％が、ラグビー観戦経験があると回答した。

　　　③　興味・関心度

　　　　　ラグビーワールドカップ2019への興味・関心については、「非常にある」「ある程度ある」を合わせて38.9％であった。また、東大阪市花園ラグビー場で行われる試合を現地で観戦したいかについては、「ぜひしたいと思う」「都合が合えばしたいと思う」を合わせて22.5％であった。

　　　④　ボランティアの意向

　　　　　ボランティアの参加意向は、「ぜひ参加したい」「都合が合えば参加したい」を合わせて24.5％であった。

1. ワールドマスターズゲームズ2021関西について

①　認知度

ワールドマスターズゲームズ2021関西が開催されることを「知っている」「聞いたことがある」割合は24.5％で男性が25.3％、女性が18.7％であった。そのうち、「いくつかの競技が大阪で開催されること」を認知している割合は、81.7％であった。

　　　②　興味・関心度

　　　　　ワールドマスターズゲームズ2021関西に「興味・関心がある」と回答した割合は19.6％であった。

（注）

１．「おおさかＱネット」の回答者は、民間調査会社のインターネットユーザーであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「府民全体の縮図」ではない。そのため、アンケート調査の「単純集計（参考）」は、無作為抽出による世論調査のように「調査時点での府民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまる。ただし、性別、年齢、地域に関しては、直近の国勢調査結果の大阪府の構成比に合わせている。

２．割合を百分率で表示する場合は、小数点第２位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。

３．図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

４．図表中の上段の数値は人数(ｎ)、下段の数値は割合(％)を示す。

５．図表下にカイ２乗検定の値（ｐ値）を記載しているものは、信頼度5%水準で統計上の有意差がみられたもの。

６．複数回答のクロス集計については、カイ２乗検定を行っていない。

**１．ラグビーワールドカップ2019について**

**１－１．開催の認知度**

ラグビーワールドカップ2019の開催の認知状況について質問した。まず「日本で開催されること」を知っている割合は、全体の65.2％であった。次に「東大阪市花園ラグビー場が試合会場であること」を知っている割合は、全体の51.1％であった。また、日本開催を知っている人のうち、「東大阪市花園ラグビー場が試合会場であること」も知っている人の割合は、78.4％あった。(図表１－１)

 【図表１－１】



日本開催認知

65.2%



**(1)日本開催（性・年代別の認知度）**

次に性別及び性年代別で認知度を比較した。日本での開催認知度については、男性が77.1％、女性が54.5％で、男性の割合の方が高かった。

性年代別では、男性について60歳以上の方が18歳～20歳代、30歳代及び40歳代よりも知っている人の割合が高かった。また、男性の50歳代でも30歳代より知っている人の割合が高かった。女性については、60歳以上の方が18歳～20歳代及び40歳代よりも知っている人の割合が高かった。(図表１－２、３)

【図表１－２】





【図表１－３】





**(2)　東大阪市花園ラグビー場開催（性・年代別の認知度）**

　次に東大阪市花園ラグビー場での開催の認知度については、男性の方が女性より、知っている人の割合が高かった。

性年代別では、男性について60歳以上の方が18歳～20歳代及び40歳代よりも認知している割合が高かった。女性については、18歳～20歳代、次いで40歳代で認知している割合が他に比べ低かったが、統計上の有意差は確認できなかった。(図表１－４、５)

【図表１－４】





【図表１－５】





《参考》

ラグビーワールドカップ2019が日本で開催されることを知っていた人（計652人）に対し、どのような媒体で知ったかについて質問した結果（複数回答）を参考に記載する。

最も多い項目が「1テレビ・ラジオ」82.1％、次いで「2新聞・雑誌」30.7％、「3ホームページ、インターネット」16.1％であった。(図表１－６)

【図表１－６】





**１－２．ラグビーの観戦経験**

これまでに「1東大阪市花園ラグビー場で観戦したことがある」割合は12.7％、「2東大阪市花園ラグビー場以外のスタジアムやグラウンドで観戦したことがある」も含めると14.9％であった。

また、「1 東大阪市花園ラグビー場で観戦したことがある」から「4 スタジアム等で観戦したことはないが、東大阪市花園ラグビー場以外のスタジアム等での試合をテレビ等で観戦したことがある」までを合算したラグビーの観戦経験（テレビ等を含む）は34.8％であった。(図表１－７)

【図表１－７】



ラグビー観戦経験

34.8%



**１－３．ラグビーワールドカップ2019の興味・関心度**

ラグビーワールドカップ2019の興味・関心度については、「非常に興味・関心がある」10.2％、「ある程度興味・関心がある」28.7％、合わせて38.9％であった。(図表１－８)

また、性年代別では、男性について50歳代及び60歳以上の方が、30歳代及び40歳代に比べ、興味・関心がある割合が高かった。(図表１－９)

【図表１－８】



興味・関心あり

38.9%



【図表１－９】





ラグビーワールドカップ2019の試合を東大阪市花園ラグビー場の現地で観戦したいかを聞いたところ、「ぜひ現地で観戦したいと思う」と「都合が合えば現地で観戦したいと思う」を合わせて22.5％、さらに「誘われたり、チケットが手に入れば現地で観戦したいと思う」を合わせると49.5％であった。(図表１－１０)

　また、参考に興味・関心の有無とのクロス集計をしたところ、ラグビーワールドカップ2019に「あまり興味・関心がない」と答えた人であっても、「誘われたり、チケットが手に入れば現地で観戦したいと思う」44.5％など約半数が、一定の条件を満たせば現地で観戦したいと考えていることがわかった。(図表１－１１)

【図表１－１０】





【図表１－１１】





**１－４．ラグビーワールドカップ2019のボランティアの参加意向**

ラグビーワールドカップ2019のボランティア募集があった場合、参加したいかを聞いたところ、ボランティアの参加意向は、「ぜひ参加したい」「都合が合えば参加したい」を合わせて24.5％であった。(図表１－１２)

【図表１－１２】



参加意向あり

24.5%



**２．ワールドマスターズゲームズ2021関西について**

**２－１．開催の認知度**

ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催の認知状況について質問した。「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を認知している割合は、「知っている」「聞いたことがある」を合わせた【認知層】が21.8％であった。(図表２－１)

性別では、男性が25.3％、女性が18.7％で、男性の割合の方が高かった。(図表２－２)

性年代別では、男性について18歳～20歳代の方が30歳代、40歳代及び60歳以上よりも【認知層】の割合が高かった。女性については、差はなかった。(図表２－３)

 【図表２－１】



開催認知層

21.8%



【図表２－２】





【図表２－３】





次に「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を認知している人（218人）のうち、「いくつかの競技が、大阪で開催されること」を認知している割合は、「知っている」「聞いたことがある」を合わせた【認知層】が81.7％あった。(図表２－４)

性別では、男性女性で差はなかった。(図表２－５)

性年代別については、サンプル数が少なかったため、検定は行っていない。(図表２－６)

【図表２－４】



大阪での

競技開催認知

81.7%



【図表２－５】





【図表２－６】





《参考》

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を知っている、聞いたことがある人（計218人）に対し、どのような媒体で知ったかについて質問した結果（複数回答）を参考に記載する。

最も多い項目が「1テレビ・ラジオ」56.0％、次いで「2新聞・雑誌」31.7％、「3ホームページ、インターネット」23.9％であった。(図表２－７)

【図表２－７】





**２－２．ワールドマスターズゲームズ2021関西の興味・関心度**

ワールドマスターズゲームズ2021関西の興味・関心度については、19.6 ％であった。(図表２－８)

性年代別では、男性について30歳代及び50歳代の方が60歳以上よりも興味・関心がある割合が高かった。女性については、18歳～20歳代の方が、他の年代に比べ興味・関心がある割合が高かった。(図表２－９)

【図表２－８】





【図表２－９】





《参考》

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に興味・関心があると答えた人（計196人）に対し、どのような形で関わりたいかについて質問した結果（複数回答）を参考に記載する。

最も多い項目が「テレビ等で観戦」58.2％、次いで「競技会場で直接観戦」51.0％、「ボランティアで参加」33.7％、「選手として参加」は、12.2％であった。(図表２－１０)

【図表２－１０】



